

くらし応援

健康ちえの輪



胃腸の悩み

昨年6月ごろから腸の痛みに苦しんでいます。急に下腹部が差し込むように痛み出し、ほどなくして下痢が始まります。その状態が2時間くらい続き、下痢が治まると痛みもなくなりません。しかしその後、腸の中で右が転がるような、ごろごろする感じがあり、鈍痛も伴います。このような症状が、いったんこのように症状が、いったん

出始めると何日間が続きます。朝食の後で起り、夜まで続いて、朝には治まっていることの繰り返しです。朝食の後は起りません。

内科を受診して便の潜血検査を受けましたが、異常は見つからず、セレキノン錠とラックビ―微粒という薬を処方されました。服用すると腹痛はなくなり、

下腹部の痛みと下痢



便通も良くなります。その後、薬がなくなるたびに1週間分の薬をもらいに行き、症状が出るので飲んでいます。ただ、症状自体が出なくなったわけではないので、ずっとこの薬を飲んでいいのかな気になります。

普段は頑固な便秘です。このような症状が出るのは、ストレスが原因なのでしょうか。それとも何かほかの原因が考えられるのでしょうか。症状を抑えるだけでなく、根本的に治す方法はないのでしょうか。

(三毛猫・46歳・麻績村)

アドバイス 詳しい検査をぜひ受けて

ご相談の症状は、医師の立場からは気になる内容です。

消化器は、単純に言えば、

口から肛門に達する長い管です。食べ物をその管の先の方へ送る筋肉の動きは、細長い虫の這う動きに似ているので、蠕動と呼ばれます。下痢

の時にお腹がごろごろとするのは、蠕動が盛んになっているためです。

また、腸に狭い部分があると、そこを通過させようとして蠕動が高まり、痛みを感じる場合があります。内容物が通ってしまつと痛み

はやわらぎますが、蠕動はしばらく強いままなので、下痢やごろごろした感じは続きます。

一般的に、腸が狭くなる原因としては、お腹の手術による癒着や、ポリープ等の腫瘍による場合などがあります。

三毛猫さんは普段は便秘がち

ということなので、小腸の終わりの方が大腸の前半部に何らかの原因があると考えられます。朝食の後に下痢や痛みが起らないのは、食べた物が狭い場所まで届くのにかかるためでしょう。セレキノンは胃や腸を活発に動かす薬なので、一時的に狭い場所の通りを良くしているよう

です。

三毛猫さんの症状はストレスによるものとはあまり考えられません。便の潜血検査だけでは病気が見つからないことがあります。小腸や大腸の詳しい検査をぜひ受けてください。

(神村盛宜 長野市・伊勢国胃腸外科院長)